

開成校新聞

発行 開成中等新聞局
発行責任者 宮崎
* * *
制作者 吉田 鳴海

1/365コマ



図書館前で、はしごを登るサンタクロースを発見しました!!!

科学の甲子園北海道大会優勝

全国大会への出場決定

11月30日に第14回科学の甲子園北海道大会が行われ、札幌予選を通過した5年富樫一心さん、井戸井亮介さん、小野煌翔さん、成田芽生さん、福田啓斗さん、4年北山大智さんの6人のグループ「お茶のcossin(おちやのこさいんさいん)」が1位となった。6人は3月21日から24日にかけて茨木県つくば市にて行われる全国大会に出場する予定だ。



▲お茶のcossinのメンバー。左上から小野さん、北山さん、井戸井さん、左下から福田さん、富樫さん、成田さん

科学の甲子園とは高等学校の生徒チームを対象に、理科、数学、情報における複数分野の競技を行う取り組みである。北海道大会には、全道7会場で行われた一次予選を勝ち抜いた12チーム72名が参加し、与えられた問題を解く筆記試験、実験を行う実技競技、工作を行う総合競技の3つの競技に取り組んだ。富樫さんと井戸井さんは去年も出場していたが全国大会進出を逃してしまったため、そのリベンジとして、富樫さんが他5人のメンバーを勧誘したという。6人は一次予選に向けて大学入試の過去問などを解き、予選を通

11月1日に多目的ホールにてボランティア局ボランティア班が服のカプロジェクトの仕分けを行っていた。

服のカプロジェクトとは、ファーストリテイリング社が国連難民高等弁務官事務所とともに取り組む、小・中・高校生を対象の参加型プログラ



▲服の仕分けをする班員

服のカプロジェクト

ムだ。学生が主体となって着なくなった子供服を回収し、服を必要とする人々に届けている。今回の仕分けでは戦争をイメージさせる迷彩柄やドクロマークの入った服を取り除き、サイズごとに分類していた。ボランティア班リーダー5年3組池上かななさんによると、班は3年前からこのプロジェクトに参加していて、今年は元町地区の11の保育園やまちづくりセンターから子供服を回収したそう。

過してからは、ほぼ毎日下校時間になるまで実験室で実験の練習を行っていた。当日は総合競技を行うメンバーと筆記競技、実技競技を行うメンバーに分かれて試験に取り組んだ。「全ての実験を終わらせることはできなかったが、手際よ

く進めることができた」と振り返った。全国大会に向けては「筆記競技で、他の学校に負けないくらいの点数を取れるよう勉強していきたい。事前に概要が公開される実験についても準備を進めていきたい」と心意気を語った。